

申込書の書き方 [記入例]

書き方

- 申込書は複写式(3枚)となっていますので、ボールペンで強くご記入ください。
- お申込人欄及び連帯債務者欄の「おなまえ(自署)」にはお申込みをする方が必ず自署・押印してください。
- 住所は都道府県名からご記入ください。
- 番号のある欄は、該当する番号に○印をつけてください。
- 【物件情報欄の記載要領】は、取得される住宅の種類ごとに、「住宅建設」、「新築住宅購入」、「中古住宅購入」、「借換融資」を分けて記載していますので、該当するところをご覧の上、ご記入ください。

<選択欄のご記入例>

良い例	悪い例
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

【お申込人欄の記載要領】

おなまえ(自署)	フリガナ タイラ	ミツゴロウ	実印	フリガナ トウキョウト チュウオウク ニホンバシ 〇-〇-〇	おとこ
性	男	年齢	35歳	生年月日	XX年03月05日
別	女	①日本国籍	通勤時間	75分	残高証明発行希望
メールアドレス	@				
勤務先名	フリガナ 〇〇ケンセツ	〇〇シヤ	職業	①自営業 ②公務員 ③農林漁業主 ④会社員 ⑤短期社員	
勤務先住所	東京都千代田区丸の内 〇-〇-〇		業種	①農林漁業 ④鉱業 ⑤建設業 ⑥製造業 ⑦電気・ガス・熱供給・水道業	
事業内容	住宅の建設工事		所属部署	〇〇部〇〇課	職種
就職年月	15年04月	転職等	①加入	②不加入	

- おなまえ(自署)・おなまえ欄の実印・おとこ**
ご提出いただいた本人確認資料(運転免許証等)と同じ内容をご記入ください。
(ア)「おなまえ(自署)」欄
おなまえはお申込みをする方がご記入ください。
※外国籍の方については、住民票等の氏名又は通称名のうち、日本国内で通常利用しているおなまえをご記入ください。また、通常利用しているおなまえがミドルネーム等により3つ以上に分かれている方は、一番最後のもののみを(名)欄に、それ以外は全て(姓)欄にご記入ください。
(イ)「おなまえ(自署)」欄の「実印」欄
・「おなまえ(自署)」欄の印は2枚目(金融機関控え)に実印を押印してください。
・印鑑登録をしていない場合は、登録予定の印をご使用ください。
(ウ)「おとこ」欄
・現在のご住所(都道府県から)、ご自宅の電話番号及びお申込人が所有する携帯電話の電話番号をご記入ください。
・ご自宅に固定電話がない場合は、「ご連絡先(ご自宅)」欄に携帯電話の電話番号をご記入ください。この場合は、「携帯電話」欄は記入しないでください。
- 通勤時間**
・融資住宅から勤務先までの所要時間(分)をご記入ください。
・通勤をしていない方、単身赴任の方、セカンドハウス、親族居住用住宅を取得される方は「0」をご記入ください。
・借換融資の場合は記入しないでください。
- メールアドレス**
・住宅金融支援機構からのメールによるご案内・ご提案(【フラット35】の最新金利、融資制度に関する情報、最新のトピックス情報等)を希望しない場合は、「機構ダイレクトメールの送付」欄の「送付を希望しません」に○印をつけてください。
・ご案内・ご提案を希望する場合はメールアドレスをご記入ください。下欄の「メールアドレス記入上のご注意」に記載の文字等に特にご注意いただき、丁寧にご記入ください(判別できない場合、住宅金融支援機構からのメールによる各種サービスのご案内・ご提案が届かない場合があります。)

<メールアドレス記入上のご注意>

 - ・数字のゼロには/を引いてください。→「0」
 - ・数字の「1(イチ)」、英字「I(エル)」、「I(アイ)」は丁寧に記入してください。
 - ・数字の「2(ニ)」、英字「Z(ゼット)」は丁寧に記入してください。
 - ・記号の「_ (アンダーバー)」、「- (ハイフン)」は丁寧に記入してください。
- 残高証明発行希望**
住宅借入金等特別控除(住宅ローン控除)に係る「税控除残高証明書」の発行を希望される場合は「有り」に、希望されない場合は「無し」に○印をつけてください。
☑住宅借入金等特別控除(住宅ローン控除)の適用等の詳細につきましては、最寄りの税務署又は税理士にご確認ください。
- ご職業**
(ア)「勤務先名」欄
株式会社の場合は「前株」又は「後株」に、特例有限会社の場合は「前有」又は「後有」に、株式会社、特例有限会社以外の組織形態の場合には、「その他」欄に組織形態をご記入ください(例:財団法人、医療法人等。個人経営の場合は、「個人経営」とご記入ください。)

- ・名称は「株式会社」等の組織形態は除き、支店・営業所名等は、略さずにご記入ください。
- ・自営業の場合には屋号等をご記入ください。
- ・派遣社員の方は、派遣先名称をご記入ください(「勤務先ご住所」、「業種」、「事業内容」、「所属部署」、「職種」、「役職」も派遣先に関してご記入ください。)
- (イ)「フリガナ」欄
・略さずにご記入ください。
・(カブ)、(ユウ)等の部分は記入しないでください。
- (ウ)「勤務先ご住所」欄
現在の勤務先の住所をご記入ください。
- (エ)「職業」欄
以下を参考に該当する番号に1つだけ○印をつけてください(複数不可。複数の収入源がある場合は収入金額が最も多いものに○印をつけてください。)
また、「9その他」に○印をつける場合は、()に職業を具体的に記載してください。
①自営業(本人が会社代表者(代表権のある役員)である場合又は親族が経営する会社の役員や社員の場合を含みます。)
④会社員(雇用の契約期間に定めがない社員又は1年以上の契約期間の社員)
⑤短期社員(雇用の契約期間が1年未満の社員又は雇用期間にかかわらず随時的に雇用された社員(雇用の契約期間が1年未満の公務員を含みます。))
- (オ)「業種」欄
・該当する番号に1つだけ○印をつけてください(複数不可)。
・「99その他」に○印をつける場合は、()に業種を具体的に記載してください。
・年金を受給されている方は「99その他」に○印をつけ()に年金受給と記載してください。
- (カ)「事業内容」欄
具体的な業務内容をご記入ください。
- (キ)「所属部署」欄
〇〇部〇〇課等(自営業の場合は記入不要です。)
- (ク)「職種」欄
例)事務、営業、組立工、調理師、美容師、販売店員、建具工、運転手、医師、一級建築士、農業従事者等
- (ケ)「役職」欄
例)代表者、役員、部長、課長、係員、経営者、従業員等
- (コ)「就職年月」欄
・現在の勤務先に就職した年月をご記入ください。
・派遣社員の方は、所属する派遣会社に登録した年月をご記入ください。
・自営業の方は、その開業年月(法人成りした場合は、商業登記簿上の設立年月)をご記入ください。
- (サ)「出向・転職等」欄
・過去に転職したことがある場合は「転職」、現在、出向されている方は「出向」、現在、派遣社員の方は「派遣」に○印をつけ、それぞれ前勤務先、出向元、派遣元の名称をご記入ください。
・複数の該当する場合は、該当する番号のうち数字が最も大きい番号を選択してください。
・出向・転職等がない場合は、「無」に○印をつけてください。
- 団信**
新機構団体信用生命保険制度に加入する場合は、1に○印をつけ、加入しない場合には、2に○印をつけてください。
(必ずどちらかに○印をつけてください。)
※お申込人の健康状態によっては、団信にご加入いただけない場合があります。

【連帯債務者欄の記載要領】

理由	③親子リレー返済 ④収入合算 ⑨その他	お申込人との関係	①配偶者 ②婚約者 ③親 ④子 ⑨その他()
おなまえ(自署)	フリガナ タイラ	ヨシコ	実印
連帯債務者	お申込人との現在の同居の有無		
性別	男	年齢	35歳
生年月日	XX年05月03日	通勤時間	50分
残高証明発行希望	①有り	②無し	
勤務先名	フリガナ 〇〇セイヤク	〇〇シテン	職業
勤務先住所	東京都新宿区西新宿 〇-〇-〇		
事業内容	薬品の販売	所属部署	〇〇部〇〇課
就職年月	15年04月	就職	①加入 ②不加入

- 理由**
・連帯債務者となる理由に○印をつけてください(複数可)。
・団信への加入を希望するためや住宅ローン控除の適用を受けるため等の場合は、「9その他」に○印をつけてください。
- お申込人との関係**
・該当する番号に1つだけ○印をつけてください(複数不可)。
・「9その他」を選択する場合は、()内にお申込人との関係を具体的にご記入ください。
- おなまえ(自署)・おなまえ欄の実印**
ご提出いただいた本人確認資料(運転免許証等)と同じ内容をご記入ください。
(ア)「おなまえ(自署)」欄
連帯債務者となる方がご記入ください。
※外国籍の方については、住民票等の氏名又は通称名のうち、日本国内で通常利用しているおなまえをご記入ください。また、通常利用しているおなまえがミドルネーム等により3つ以上に分かれている方は、一番最後のもののみを(名)欄に、それ以外は全て(姓)欄にご記入ください。
(イ)「おなまえ(自署)」欄の「実印」欄
・「おなまえ(自署)」欄の印は2枚目(金融機関控え)に実印を押印してください。
・印鑑登録をしていない場合は、登録予定の印をご使用ください。
- 通勤時間**
・融資住宅から勤務先までの所要時間(分)をご記入ください。
・通勤をしていない方は「0」をご記入ください。
・融資住宅に入居する方のみご記入ください。
・借換融資の場合は記入しないでください。

【物件情報欄の記載要領(現在住宅)】

現在住宅面積	75㎡	住宅種類	①親族の家に居住 ②持ち家 ③公営住宅 ④機構(公団)・公社等賃貸住宅
住宅の建て方	①一戸建て ②連続建て ③重ね建て ④共同建て	住宅を必要とする理由	①住宅が古い ②住宅が狭い ③結婚 ④世帯を分ける(③を除く) ⑤環境が悪い

- 住宅面積**
お申込人の現在お住まいの住宅床面積をご記入ください(車庫・バルコニー等共用部分の面積は含みません。)
- 住宅の種類**
お申込人の現在お住まいの住宅の種類について該当する番号に1つだけ○印をつけてください(複数不可)。
- 住宅の建て方**
お申込人の現在お住まいの住宅の建て方について該当する番号に1つだけ○印をつけてください(複数不可)。
一戸建て: 他の住宅又は非住宅(店舗・事務所等)と連続しない、上下に重ならない一棟の独立した住宅
共同建て: 2戸以上の住宅で構成され、廊下や階段等の共用する部分を備えた住宅(共用する部分の面積は問いません。)
連続建て: 共同建て以外の建て方で住宅と住宅又は非住宅(店舗・事務所等)が連続する建て方
重ね建て: 共同建て以外の建て方で住宅と住宅又は非住宅(店舗・事務所等)を重ねる建て方
※2階建て以下の共同建ては重ね建てに○印をつけてください。
- 住宅を必要とする理由**
・お申込人が住宅を必要とする理由について該当する番号に1つだけ○印をつけてください(複数不可)。
・「9その他」に○印をつける場合は、()に具体的に記載してください。
借換融資の場合は「9その他」に○印をつけ、()は空欄としてください。

【物件情報欄の記載要領】(住宅建設の場合)

現在住宅	住宅面積	75	㎡	住宅種類	① 親族の家に居住 ⑤ 民間木造アパート	② 持ち家 ⑥ 民間借家(⑤を除く)	③ 公営住宅 ⑦ 借間下宿	④ 機構(公団)・公社等賃貸住宅 ⑧ 社宅・官舎			
住宅の建て方	① 一戸建て ③ 重ね建て	② 連続建て ④ 共同建て	住宅を必要とする理由	① 住宅が古い ⑥ 家賃が高い	② 住宅が狭い ⑦ 立ち退き要求	③ 結婚 ⑧ 通勤・通学に不便	④ 世帯を分ける(③を除く) ⑨ その他	⑤ 環境が悪い			
敷地	敷地の権利	① 所有権 ② 地上権 ③ 賃貸借 ④ 使用貸借			土地の購入(予定)時期	天正(昭和) 10年08月 平成(令和)	敷地の実測面積	153.35	㎡	敷地内の既存建物	① なし ② 残す ③ 取り壊す
	所在地	東京(都道府県) 国立市(市町村) 〇〇〇〇			マンション名(フリガナ)	△△マンション			部屋番号	305	
物件	取建	床面積	125.08	㎡	構造	② 木造(耐久性あり) ③ 準耐火 ⑤ 耐火	建て方	① 一戸建て ③ 重ね建て	② 連続建て ④ 共同建て	入居時期	① 遅れあり
情報	待物	フラット35S	① 省エネルギー性(A)(B) ③ バリアフリー性(A)(B)	② 耐震性(A)(B)	④ 耐久性・可変性(A)(B)	入居予定	令和 〇〇年12月	延べ面積	304.5	㎡	1棟全体の住宅部分の延べ面積(共同建てのみ)
報告	担保提供者数	2	共有予定	土地建物	有無	建物新築(予定)年月日	昭和(平成) 〇〇年12月01日	売買契約(予定)日	平成(令和) 〇〇年06月01日		
担保	提供者1	① 建物のみ ② 土地のみ ③ 建物及び土地	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	
	提供者2	① 建物のみ ② 土地のみ ③ 建物及び土地	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	
関係	お申込人の関係	生年月日	天正(昭和) 〇〇年 〇月 〇日	住所	〒()	お申込人の関係	親	生年月日	天正(昭和) 〇〇年 〇月 〇日	住所	〒()

19 敷地・所在地
 ・融資住宅の所在地が、お申込人の現在のご住所と同一の場合は「**現住所と同じ**」に、異なる場合は「**異なる**」に〇印をつけてください。
 ・「**異なる**」に〇印をつけた場合は、住居表示上の番地を都道府県からご記入ください。住居表示上の番地が付されていない場合は、土地の登記事項証明書上の所在地を都道府県からご記入ください。

20 敷地の権利
 ・該当する番号に〇印をつけてください。
 ・所有権の場合で取得原因が購入のときは、**21**の土地の購入時期を併せてご記入ください。
 ・敷地の所有形態で権利が混在する場合は、該当する番号全てに〇印をつけてください。

21 土地の購入(予定)時期
 敷地の権利が所有権の場合で土地の取得原因が購入のときは、土地の取得時期(所有権移転登記日)をご記入ください。

22 敷地面積
 敷地の実測面積(建築確認の敷地の面積。小数点第3位以下切捨て)をご記入ください。

23 敷地内の既存建物の有無
 敷地内に既存建物がない場合は「**① なし**」に、敷地内の既存建物を残して新築する場合には「**② 残す**」に、敷地内の既存建物を取り壊す場合は「**③ 取り壊す**」に〇印をつけてください(複数不可)。

24 床面積
 ・敷地内に既存建物がある場合でも、住宅部分及び非住宅部分の両部分について、新築部分のみの床面積をご記入ください(既存建物の床面積は記入しないでください)。
 ・小数点第3位以下は切り捨ててください。
 ・「住宅部分」欄には、屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。
 ・「非住宅部分」欄には、併用住宅で店舗等の非住宅部分がある場合にその面積を算入してください。屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。

25 構造
 住宅の構造について該当する番号に**1つだけ**〇印をつけてください(複数不可)。

26 建て方
 ・住宅の建て方について該当する番号に**1つだけ**〇印をつけてください(複数不可)。
 ・建て方の説明は**17**をご参照ください。
 ・「**④ 共同建て**」に〇印をつけた場合は、**29**の延べ面積を併せてご記入ください。

27 フラット35S
 【フラット35】Sのお申込受付期間にお申込みされる場合で、【フラット35】Sに該当するときのみご記入ください。
 (制度の内容やお申込受付期間については、住宅金融支援機構フラット35サイト(www.flat35.com)をご確認ください。)

該当する住宅の性能に〇印をつけ(数字①~④、複数選択可)、〇印をつけた住宅の性能のうち該当する住宅の技術基準に〇印をつけてください(A)及び(B)のいずれにも該当する場合はAに〇印をつけてください。)

28 入居予定年月・入居時期
 ・融資住宅に入居される予定年月をご記入ください。
 ・資金のお受取後直ちに入居予定者の全員が入居できない場合は、「入居時期」欄の「**① 遅れあり**」に〇印をつけてください。

29 延べ面積
 ・**26**の建て方で「**④ 共同建て**」に〇印をつけた場合は、1棟全体の延べ面積(1㎡未満切捨て)をご記入ください(融資住宅の募集パンフレット等でご確認ください)。
 ・**26**の建て方で「**④ 共同建て**」以外に〇印をつけた場合は、何も記入しないでください。

30 担保提供者数
 ・融資住宅(建物・敷地)について、お申込人以外の担保の提供者がいる場合、その総数を記載してください。あわせて**34**の担保提供者をご記入ください。
 ・お申込人以外に担保の提供者がいない場合は、0名としてください。

31 共有予定
 敷地、建物のそれぞれについて、共有予定者がいる場合は「**有**」に〇印をつけてください。※建物については、「**有**」と「**無**」のどちらか一方に必ず〇印をつけてください。

32 建物新築(予定)年月日
 [未竣工の場合]
 竣工予定年月日をご記入ください。
 [竣工済の場合]
 建築確認の検査済証の交付年月日をご記入ください。

33 売買契約(予定)日
 ・融資住宅の請負契約日をご記入ください。
 ・請負契約を締結していない場合は、請負契約予定日をご記入ください。

34 担保提供者
 ・**30**の担保提供者数が0名でない場合は記入してください。
 ・連帯債務者となる方が担保の提供者となる場合は、「担保提供者1」欄の「**連帯債務者と同じ**」に〇印をつけてください。この場合は、「おなまえ」、「お申込人との関係」、「生年月日」、「住所」欄は記載しないでください。
 ・**30**の担保提供者数が3名以上の場合は、「(参考書式)長期固定金利型住宅ローン(機構買取型)借入申込書(担保提供者に関する申出書)」に必要事項を記入の上、借入申込書と併せて提出してください(書式はお申込予定の金融機関で入手してください)。

【物件情報欄の記載要領】(新築住宅購入の場合)

現在住宅	住宅面積	75	㎡	住宅種類	① 親族の家に居住 ⑤ 民間木造アパート	② 持ち家 ⑥ 民間借家(⑤を除く)	③ 公営住宅 ⑦ 借間下宿	④ 機構(公団)・公社等賃貸住宅 ⑧ 社宅・官舎			
住宅の建て方	① 一戸建て ③ 重ね建て	② 連続建て ④ 共同建て	住宅を必要とする理由	① 住宅が古い ⑥ 家賃が高い	② 住宅が狭い ⑦ 立ち退き要求	③ 結婚 ⑧ 通勤・通学に不便	④ 世帯を分ける(③を除く) ⑨ その他	⑤ 環境が悪い			
敷地	敷地の権利	① 所有権 ② 地上権 ③ 賃貸借 ④ 使用貸借			土地の購入(予定)時期	天正(昭和) 〇〇年 〇月 〇日 平成(令和)	敷地の実測面積	4153.35	㎡	敷地内の既存建物	① なし ② 残す ③ 取り壊す
	所在地	東京(都道府県) 国立市(市町村) 〇〇〇〇			マンション名(フリガナ)	△△マンション			部屋番号	305	
物件	取建	床面積	75.05	㎡	構造	② 木造(耐久性あり) ③ 準耐火 ⑤ 耐火	建て方	① 一戸建て ③ 重ね建て	② 連続建て ④ 共同建て	入居時期	① 遅れあり
情報	待物	フラット35S	① 省エネルギー性(A)(B) ③ バリアフリー性(A)(B)	② 耐震性(A)(B)	④ 耐久性・可変性(A)(B)	入居予定	令和 〇〇年12月	延べ面積	304.5	㎡	1棟全体の住宅部分の延べ面積(共同建てのみ)
報告	担保提供者数	1	共有予定	土地建物	有無	建物新築(予定)年月日	昭和(平成) 〇〇年12月01日	売買契約(予定)日	平成(令和) 〇〇年10月01日		
担保	提供者1	① 建物のみ ② 土地のみ ③ 建物及び土地	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	
	提供者2	① 建物のみ ② 土地のみ ③ 建物及び土地	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	おなまえ	フリガナ	
関係	お申込人の関係	生年月日	天正(昭和) 〇〇年 〇月 〇日	住所	〒()	お申込人の関係	親	生年月日	天正(昭和) 〇〇年 〇月 〇日	住所	〒()

19 敷地・所在地
 ・融資住宅の所在地が、お申込人の現在のご住所と同一の場合は「**現住所と同じ**」に、異なる場合は「**異なる**」に〇印をつけてください。
 ・「**異なる**」に〇印をつけた場合は、住居表示上の番地を都道府県からご記入ください。住居表示上の番地が付されていない場合は、土地の登記事項証明書上の所在地を都道府県からご記入ください。

20 敷地の権利
 ・該当する番号に〇印をつけてください。
 ・所有権の場合は、**21**の土地の購入時期を併せてご記入ください。
 ・敷地の所有形態で権利が混在する場合は、該当する番号全てに〇印をつけてください。

21 土地の購入(予定)時期
 ・敷地の権利が所有権の場合は、土地の取得時期についてご記入ください。
 ・**26**の建て方で「**④ 共同建て**」に〇印をつけた場合は、記入しないでください。

22 敷地面積
 ・敷地の実測面積(建築確認の敷地の面積。小数点第3位以下切捨て)をご記入ください。
 ・**26**の建て方で「**④ 共同建て**」に〇印をつけた場合は、建物全体の敷地面積をご記入ください。

23 敷地内の既存建物の有無
 敷地内に融資住宅以外の建物がない場合は「**① なし**」に、ある場合は「**② 残す**」に、当該建物を取り壊す場合は「**③ 取り壊す**」に〇印をつけてください。

24 床面積
 ・敷地内に融資対象住宅以外の建物がある場合でも、住宅部分及び非住宅部分の両部分について、融資対象住宅部分のみの床面積をご記入ください(融資対象住宅以外の建物の床面積は記入しないでください)。
 ・小数点第3位以下は切り捨ててください。
 ・「住宅部分」欄には、屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。
 ・「非住宅部分」欄には、併用住宅で店舗等の非住宅部分がある場合にその面積を算入してください。屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。

25 構造
 住宅の構造について該当する番号に**1つだけ**〇印をつけてください(複数不可)。

26 建て方
 ・住宅の建て方について該当する番号に**1つだけ**〇印をつけてください(複数不可)。
 ・建て方の説明は**17**をご参照ください。
 ・「**④ 共同建て**」に〇印をつけた場合は、**29**の延べ面積を併せてご記入ください。

27 フラット35S
 【フラット35】Sのお申込受付期間にお申込みされる場合で、【フラット35】Sに該当するときのみご記入ください。
 (制度の内容やお申込受付期間については、住宅金融支援機構フラット35サイト(www.flat35.com)をご確認ください。)

該当する住宅の性能に〇印をつけ(数字①~④、複数選択可)、〇印をつけた住宅の性能のうち該当する住宅の技術基準に〇印をつけてください(A)及び(B)のいずれにも該当する場合はAに〇印をつけてください。)

28 入居予定年月・入居時期
 ・融資住宅に入居される予定年月をご記入ください。
 ・資金のお受取後直ちに入居予定者の全員が入居できない場合は、「入居時期」欄の「**① 遅れあり**」に〇印をつけてください。

29 延べ面積
 マンション等の共同建て住宅を購入される場合は、1棟全体の延べ面積(1㎡未満切捨て)をご記入ください(融資住宅の募集パンフレット等でご確認ください)。

30 担保提供者数
 ・融資住宅(建物・敷地)について、お申込人以外の担保の提供者がいる場合、その総数を記載してください。あわせて**34**の担保提供者をご記入ください。
 ・お申込人以外に担保の提供者がいない場合は、0名としてください。

31 共有予定
 敷地、建物のそれぞれについて、共有予定者がいる場合は「**有**」に〇印をつけてください。※建物については、「**有**」と「**無**」のどちらか一方に必ず〇印をつけてください。

32 建物新築(予定)年月日
 [未竣工の場合]
 竣工予定年月日をご記入ください。
 [竣工済の場合]
 ・建築確認の検査済証の交付年月日をご記入ください。
 ・検査済証で確認できない場合又は大規模マンション等で検査済証の交付年月日と著しく異なる場合は、登記事項証明書の「表題部」の「原因及びその日付」欄に記載されている年月日(新築)をご記入ください。

33 売買契約(予定)日
 ・売買契約日をご記入ください。
 ・売買契約を締結していない場合は、売買契約予定日をご記入ください。

34 担保提供者
 ・**30**の担保提供者数が0名でない場合は記入してください。
 ・連帯債務者となる方が担保の提供者となる場合は、「担保提供者1」欄の「**連帯債務者と同じ**」に〇印をつけてください。この場合は、「おなまえ」、「お申込人との関係」、「生年月日」、「住所」欄は記載しないでください。
 ・**30**の担保提供者数が3名以上の場合は、「(参考書式)長期固定金利型住宅ローン(機構買取型)借入申込書(担保提供者に関する申出書)」に必要事項を記入の上、借入申込書と併せて提出してください(書式はお申込予定の金融機関で入手してください)。

【物件情報欄の記載要領】(中古住宅購入の場合)

現在住宅	住宅面積	75 m ²	住宅種類	① 親族の家に居住 ⑤ 民間木造アパート ⑥ 民間借家(⑤を除く)	② 持ち家 ⑦ 公営住宅 ⑧ 借間下宿	③ 公営住宅 ④ 機構(公団)・公社等賃貸住宅		
住宅の建て方	① 一戸建て ② 連続建て ③ 重ね建て ④ 共同建て	住宅を必要とする理由	① 住宅が古い ② 住宅が狭い ③ 結婚 ④ 世帯を分ける(③を除く) ⑤ 環境が悪い ⑥ 家賃が高い ⑦ 立ち退き要求 ⑧ 通勤・通学に不便 ⑨ その他	敷地の権利	① 所有権 ② 地上権 ③ 賃貸借 ④ 使用貸借	土地の購入(予定)時期	(天正 昭和 平成 令和) 〇〇年 10月	
敷地	敷地面積	153.35 m ²	敷地内の既存建物	① なし ② 残す ③ 取り壊す	マンション名	フリガナ トウキョウト クニタチシ 〇〇〇〇		
物件	物件名	マンション名(フリガナ)	部屋番号	号	床面積	住宅部分 125.08 m ² 非住宅部分 m ²		
情報	物件種別	フラット35S	① 省エネルギー性(A/B) ② 耐震性(A/B) ③ パリアフリー性(A/B) ④ 耐久性・変同性(A/B)	入居予定年月	令和 〇〇年 12月	延べ面積	m ²	
担保	担保提供者数	1名	共有予定	土地 有/無 建物 有/無	新築(予定)年月日	昭和/平成/令和 〇〇年 12月 01日	売買契約(予定)日	令和 〇〇年 10月 01日
担保	担保提供者	お申込み者(氏名)	フリガナ	お申込み者(姓)	お申込み者(名)	お申込み者(住所)	お申込み者(住所)	

19 敷地・所在地
 ・融資住宅の所在地が、お申込人の現在のご住所と同一の場合は「**現在所と同じ**」に、異なる場合は「**異なる**」に○印をつけてください。
 ・「異なる」に○印をつけた場合は、住居表示上の番地を都道府県からご記入ください。住居表示上の番地が付されていない場合は、土地の登記事項証明書上の所在地を都道府県からご記入ください。

20 敷地の権利
 ・該当する番号に○印をご記入ください。
 ・敷地の所有形態で権利が混在する場合は、該当する番号全てに○印をつけてください。

21 土地の購入(予定)時期
 ・敷地の権利が所有権の場合は、土地の取得時期についてご記入ください。
 ・**20**の建て方で「**共同建て**」に○印をつけた場合は、記入しないでください。

22 敷地面積
 ・敷地の実測面積(建築確認の敷地の面積。小数点第3位以下切捨て)をご記入ください。
 ・**20**の建て方で「**共同建て**」に○印をつけた場合は、建物全体の敷地面積をご記入ください。

23 敷地内の既存建物の有無
 敷地内に融資対象住宅以外の建物がない場合は「**なし**」に、ある場合は「**残す**」に、当該建物を取り壊す場合は「**取り壊す**」に○印をつけてください。

24 床面積
 ・敷地内に融資対象住宅以外の建物がある場合でも、住宅部分及び非住宅部分の両部分について、融資対象住宅部分のみの床面積をご記入ください(融資対象住宅以外の建物の床面積は記入しないでください)。
 ・小数点第3位以下は切り捨ててください。
 ・「住宅部分」欄には、屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。
 ・「非住宅部分」欄には、併用住宅で店舗等の非住宅部分がある場合にその面積を算入してください。屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。
 ・【フラット35(リフォーム一体型)】を利用する場合は、リフォーム後の床面積をご記入ください。

25 構造
 住宅の構造について該当する番号に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。

26 建て方
 ・住宅の建て方について該当する番号に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。
 ・建て方の説明は**17**をご参照ください。
 ・「**共同建て**」に○印をつけた場合は、**29**の延べ面積を併せてご記入ください。

27 フラット35S
 【フラット35S】S又は【フラット35】リノベ※のお申込受付期間にお申込みされる場合のみご記入ください。
 (制度の内容やお申込受付期間については、住宅金融支援機構フラット35Sサイト(www.flat35.com)をご確認ください。)
 ※【フラット35】リノベをお申込みされる場合は、「【フラット35】S」を「【フラット35】リノベ」と読み替え、【フラット35】リノベで該当する基準を選択してください。
 該当する住宅の性能に○印をつけ(数字1~4、複数選択可)、○印をつけた住宅の性能のうち該当する住宅の技術基準に○印をつけてください(A及びBのいずれにも該当する場合はAに○印をつけてください)。

28 入居予定年月・入居時期
 ・融資住宅に入居される予定年月をご記入ください。
 ・資金のお受取後直ちに入居予定者の全員が入居できない場合は、「入居時期」欄の「**遅れあり**」に○印をつけてください。

29 延べ面積
 マンション等の共同建て住宅を購入される場合は、1棟全体の延べ面積(1㎡未満切捨て)をご記入ください(融資住宅の募集パンフレット等でご確認ください)。

30 担保提供者数
 ・融資住宅(建物・敷地)について、お申込人以外の担保の提供者がいる場合、その総数を記載してください。あわせて**34**の担保提供者をご記入ください。
 ・お申込人以外に担保の提供者がいない場合は、0名としてください。

31 共有予定
 敷地、建物のそれぞれについて、共有予定者がいる場合は「**有**」に○印をつけてください。
 ※建物については、「**有**」と「**無**」のどちらか一方に必ず○印をつけてください。

32 建物新築(予定)年月日
 ・建築確認の検査済証の交付年月日をご記入ください。
 ・検査済証で確認できない場合又は大規模マンション等で検査済証の交付年月日が実際の新築年月日と著しく異なる場合は、登記事項証明書の「表題部」の「原因及びその日付」欄に記載されている年月日(新築)をご記入ください。
 ・登記事項証明書により融資住宅の新築年月日又は表示登記年月日が確認できない場合は、閉鎖登記簿謄(抄)本の「表題部」の「原因及びその日付」欄に記載されている年月日(新築)をご記入ください。

33 売買契約(予定)日
 売買契約日をご記入ください。
 ・売買契約を締結していない場合は、売買契約予定日をご記入ください。

34 担保提供者
 ・**30**の担保提供者数が0名でない場合は記入してください。
 ・連帯債務者となる方が担保の提供者となる場合は、「担保提供者1」欄の「連帯債務者と同じ」に○印をつけてください。この場合は、「おなまえ」、「お申込人との関係」、「生年月日」、「住所」欄は記載しないでください。
 ・**30**の担保提供者数が3名以上の場合は、「(参考書式)長期固定金利型住宅ローン(機構買取型)借入申込書(担保提供者に関する申出書)」に必要事項を記入の上、借入申込書と併せて提出してください(書式はお申込予定の金融機関で入手してください)。

【物件情報欄の記載要領】(借換融資の場合)

現在住宅	住宅面積	125 m ²	住宅種類	① 親族の家に居住 ⑤ 民間木造アパート ⑥ 民間借家(⑤を除く)	② 持ち家 ⑦ 公営住宅 ⑧ 借間下宿	③ 公営住宅 ④ 機構(公団)・公社等賃貸住宅		
住宅の建て方	① 一戸建て ② 連続建て ③ 重ね建て ④ 共同建て	住宅を必要とする理由	① 住宅が古い ② 住宅が狭い ③ 結婚 ④ 世帯を分ける(③を除く) ⑤ 環境が悪い ⑥ 家賃が高い ⑦ 立ち退き要求 ⑧ 通勤・通学に不便 ⑨ その他	敷地の権利	① 所有権 ② 地上権 ③ 賃貸借 ④ 使用貸借	土地の購入(予定)時期	(天正 昭和 平成 令和) 〇〇年 〇月	
敷地	敷地面積	153.35 m ²	敷地内の既存建物	① なし ② 残す ③ 取り壊す	マンション名	フリガナ		
物件	物件名	マンション名(フリガナ)	部屋番号	号	床面積	住宅部分 125.08 m ² 非住宅部分 m ²		
情報	物件種別	フラット35S	① 省エネルギー性(A/B) ② 耐震性(A/B) ③ パリアフリー性(A/B) ④ 耐久性・変同性(A/B)	入居予定年月	令和 〇〇年 12月	延べ面積	m ²	
担保	担保提供者数	1名	共有予定	土地 有/無 建物 有/無	新築(予定)年月日	昭和/平成/令和 〇〇年 12月 01日	売買契約(予定)日	令和 〇〇年 10月 01日
担保	担保提供者	お申込み者(氏名)	フリガナ	お申込み者(姓)	お申込み者(名)	お申込み者(住所)	お申込み者(住所)	

19 敷地・所在地
 ・お申込人が、現在、お借換えの対象となる住宅にお住まいになっている場合は「**現在所と同じ**」に、お住まいになっていない場合は「**異なる**」に○印をつけてください。
 ・「異なる」に○印をつけた場合は、住居表示上の番地を都道府県からご記入ください。

20 敷地の権利
 ・該当する番号に○印をつけてください。
 ・敷地の所有形態で権利が混在する場合は該当する番号全てに○印をつけてください。

21 土地の購入(予定)時期
 記入しないでください。

22 敷地面積
 ・敷地の実測面積(建築確認の敷地の面積。小数点第3位以下切捨て)をご記入ください。
 ・**20**の建て方で「**共同建て**」に○印をつけた場合は、建物全体の敷地面積をご記入ください。

23 敷地内の既存建物の有無
 記入しないでください。

24 床面積
 ・お借換えの対象となる住宅の住宅部分及び非住宅部分の両部分について、床面積をご記入ください(小数点第3位以下は切り捨ててください)。
 ・**20**の建て方で「**共同建て**」に○印をつけた場合は、登記事項証明書の「表題部」欄の床面積をご記入ください。
 ・「住宅部分」欄には、屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。
 ・「非住宅部分」欄には、併用住宅で店舗等の非住宅部分がある場合にその面積を算入してください。屋内の車庫部分や区分登記をする店舗部分等は算入しないでください。

25 構造
 お借換えの対象となる住宅の構造について、該当する番号に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。

26 建て方
 ・住宅の建て方について該当する番号に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。
 ・建て方の説明は**17**をご参照ください。
 ・「**共同建て**」に○印をつけた場合は、**29**の延べ面積を併せてご記入ください。

27 フラット35S
 ・記入しないでください。
 ・【フラット35S】S等の金利引下げ制度はご利用いただけません。

28 入居予定年月・入居時期
 ・融資実行予定年月をご記入ください。
 ・「入居時期」欄は記入しないでください。

29 延べ面積
 お借換えの対象となる住宅がマンション等の共同建て住宅の場合は、1棟全体の延べ面積(1㎡未満切捨て)をご記入ください(融資住宅の募集パンフレット等でご確認ください)。

30 担保提供者数
 ・お借換えの対象となる住宅について、お申込人以外の担保の提供者がいる場合、その総数を記載してください。あわせて**34**の担保提供者をご記入ください。
 ・お申込人以外に担保の提供者がいない場合は、0名としてください。

31 共有予定
 敷地、建物のそれぞれについて、共有予定者がいる場合は「**有**」に○印をつけてください。
 ※建物については、「**有**」と「**無**」のどちらか一方に必ず○印をつけてください。

32 建物新築(予定)年月日
 左ページの「【物件情報欄の記載要領】(中古住宅購入の場合)」の「**32** 建物新築(予定)年月日」と同様にご記入ください。

33 売買契約(予定)日
 記入しないでください。

34 担保提供者
 ・**30**の担保提供者数が0名でない場合は記入してください。
 ・連帯債務者となる方が担保の提供者となる場合は、「担保提供者1」欄の「連帯債務者と同じ」に○印をつけてください。この場合は、「おなまえ」、「お申込人との関係」、「生年月日」、「住所」欄は記載しないでください。
 ・**30**の担保提供者数が3名以上の場合は、「(参考書式)長期固定金利型住宅ローン(機構買取型)借入申込書(担保提供者に関する申出書)」に必要事項を記入の上、借入申込書と併せて提出してください(書式はお申込予定の金融機関で入手してください)。

【ご家族欄の記載要領】

ご家族	今回取得する住宅の入居予定家族<入居されるご家族についてご記入ください>	〇4名	(お申込人を含む人数)	家族構成	① 夫婦のみ ② 夫婦と子供 ③ 夫婦と親 ④ 夫婦と子供と親 ⑤ 単身者 ⑥ その他	居住区分	① 親同居型 ② 子同居型 ③ セカンドハウス							
	続柄	年齢	現在、お申込人と	続柄	年齢	現在、お申込人と	続柄	年齢	現在、お申込人と					
	妻	35	(同居)	別居	子	9	(同居)	別居	子	7	(同居)	別居	同居	別居

35 同居人数
 ・融資住宅に同居する人数を、お申込人も含めてご記入ください。
 ・親族居住用住宅又はセカンドハウスを取得される方は、お申込人が現在お住まいの住宅に同居する人数(お申込人を含みます。)をご記入ください。

36 家族構成
 ・融資住宅に同居する家族の構成に該当する項目に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。
 ・現時点の間柄を元に○印をつけてください。
 ・親族居住用住宅又はセカンドハウスを取得する場合は、お申込人が現在お住まいの住宅に同居する家族構成に該当する項目に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。

37 居住区分
 親族居住用住宅又はセカンドハウスを取得する場合は該当する番号に**1つだけ**○印をつけてください(複数不可)。
 ・お申込人が融資住宅に居住する場合は、記入しないでください。

38 家族欄
 ・融資住宅に同居する家族の続柄と年齢をご記入ください。また、現在の同居の別々に○印をつけてください。
 ・書ききれない場合は、適当な用紙に「ご家族」欄の項目を記入して、ご提出ください。
 ・親族居住用住宅又はセカンドハウスを取得する場合は、お申込人が現在お住まいの住宅に同居する方をご記入ください。

【年収欄の記載要領】

39	前年	お申込人	4321456	円	内ボーナス分	121	万円	連帯債務者	3082449	円	内ボーナス分	82	万円				
40	前々年	お申込人	4056825	円													
41	お申込人の収入の種類(前年分)	① 給与収入のみ		② 給与収入のみ以外		連帯債務者の収入合算希望額(前年)		3082449		円		内ボーナス分		82		万円	

39 年収(前年)

- (ア)「お申込人」欄
 ・お申込人の申込年度の前年の収入をご記入ください。
 ・ボーナスがある方は、年間ボーナスの合計を1万円単位でご記入ください。
- (イ)「連帯債務者」欄
 ・連帯債務者となる方の申込年度の前年の収入をご記入ください。
 ・ボーナスがある方は、年間ボーナスの合計を1万円単位でご記入ください。

- 給与収入(年金収入を含みます。)のみの方は、市区町村発行の住民税課税証明書等の支払給与の総額※1をご記入ください。
- 給与収入のみ以外の方(給与収入以外の方又は給与収入以外に事業・不動産等の所得(0円を含みます。))がある方は、税務署発行の納税証明書等の所得金額をご記入ください。
- ※1 申込年度の前年以後(お申込みが平成31年度の場合は平成30年1月以後)に転職や就職をされた方は、転就職後の収入で割り戻した年収(記載方法はお申込予定の金融機関へお問合せください。)をご記入ください。
- ※2 出向により一定期間のみ勤務先が変わった場合や、派遣社員の方で派遣先のみが変わった場合は、転職の取扱いとなりません。
- ※3 育児休業や産休を取得された方は、年収の記載方法について、金融機関へお問合せください。
- ※4 公的証明書の通知又は発行が受けられない時期(4月～5月頃)にお申込みされる方は、源泉徴収票等の金額をご記入ください。
- ※5 太陽光発電に係る売電収入の取扱いについては、住宅金融支援機構フラット35サイト(www.flat35.com)をご覧ください。

40 年収(前々年)

- ③の年収(前年)と同様にご記入ください。
- 連帯債務者となる方が収入合算を希望しない場合は、「連帯債務者」欄は記入しないでください。
- ※申込年度の前年以後(お申込みが平成31年度の場合は平成30年1月以後)に転職や就職をされた方(起業は除く。)の場合は、申込年度の前年(お申込みが平成31年度の場合は平成30年1月～12月)の公的証明書の金額をそのまま転記してください。

41 お申込人の収入の種類(前年分)

- 給与収入(年金収入を含みます。)のみの方は「① 給与収入のみ」に○印をつけてください。
- 給与収入のみ以外の方(給与収入以外の方又は給与収入以外に事業・不動産等の所得(0円を含みます。))がある方は「② 給与収入のみ以外」に○印をつけてください。

42 連帯債務者の収入合算希望額(前年)

- 連帯債務者となる方が収入合算を希望する場合は、連帯債務者となる方の③の年収(前年)に記入した年収のうち希望する合算金額をご記入ください。

お借入れの対象となる諸費用(住宅建設・新築住宅購入・中古住宅購入の場合)

建設される住宅の請負契約書に記載された請負金額(消費税を含みます。)や購入される住宅の売買契約書に記載された売買金額(消費税を含みます。)が、お借入れの対象となります。
 (注1) 併用住宅(店舗、事務所等を併せ持つ住宅)の場合は、住宅部分の割合に応じて請負金額や売買金額を計算します。
 (注2) カーテン、エアコン、照明器具等の費用で、住宅の請負金額や売買金額に含まれるものは対象となります。
 ただし、お借入れの対象となる次表①から⑳までの費用を併せて借り入れる場合は、請負金額又は売買金額に含まれていない場合であっても、「確認書類」欄の書類で金額が確認できるときはお借入れの対象となります。

対象となる諸費用	住宅建設	住宅購入	確認書類	
① 外構工事の費用	○	新築購入のみ	請負契約書、売買契約書、注文書・注文請書	
② 設計費用、工事監理費用	○	リフォーム一体型のみ		
③ 敷地の測量、境界確定、整地、造成、地盤(地質)調査、地盤改良のための費用	○	—		
④ 敷地内の既存家屋などの取壊し、除却の費用	○	—		
⑤ 住宅への据付け工事を伴う家具を購入する費用	○	—		
⑥ 住宅の屋根、外壁、住宅用カーポートに固定して設置される太陽光発電設備の設置費用	○	新築購入のみ	[お客さまが請求先に直接お支払いをされる場合] 申請書、請求書、領収書	
⑦ 住宅の内装変更、設備設置のための工事費用	—	—		
⑧ 住宅の敷地に水道管、下水道管を引くための費用(水道負担金など)、浄化槽設置費用	○	○		
⑨ 太陽光発電設備の工事費負担金	○	新築購入・リフォーム一体型のみ		
⑩ 建築確認、中間検査、完了検査申請費用	○	—		
⑪ 建築確認などに関連する各種申請費用※1	○	—		
⑫ 適合証明検査費用	○	○		
⑬ 住宅性能評価関係費用	○	○		
⑭ 長期優良住宅認定関係費用※2	○	○		
⑮ 認定低炭素住宅の認定関係費用※3	○	○		
⑯ 建築物省エネ法に基づく評価、認定に係る費用	○	○		
⑰ 既存住宅売買瑕疵保険付保に係る費用	—	中古購入、リフォーム一体型のみ	請負契約書、売買契約書、注文書・注文請書	
⑱ ホームインスペクション(住宅診断)、耐震診断に係る費用	—	—		
⑲ リフォーム瑕疵保険付保に係る費用	—	リフォーム一体型のみ	契約書、請求書、領収書	
⑳ 土地購入に係る仲介手数料※4	—	—		
㉑ 住宅購入に係る仲介手数料	—	—	重要事項説明書、資金計画書	
㉒ マンション修繕積立基金(引渡時一括分に限ります。)	—	マンション購入のみ		
㉓ マンション管理準備金(引渡時一括分に限ります。)	—	—	取扱金融機関で算出した書類	
㉔ 融資手数料	○	○		
㉕ 金銭消費貸借契約証書に貼付する印紙代(お客さまの負担分)	○	○		
㉖ 請負契約書、売買契約書に貼付した印紙代(お客さまの負担分)	○	○		
㉗ 火災保険料(積立型火災保険商品※5に係るものを除きます。)、地震保険料	○	○		
㉘ 登記費用(司法書士報酬、土地家屋調査士報酬)	○	○		
㉙ 登記費用(登録免許税)	○	○		
㉚ 各種申請費用の詳細は、フラット35サイト(www.flat35.com)の「よくある質問」をご覧ください。				
※2 長期優良住宅の認定に係る費用で、登録住宅性能評価機関への技術的審査依頼費用および所管行政庁への認定申請手数料が対象となります。				
※3 認定低炭素住宅の認定に係る費用で、登録建築物調査機関または登録住宅性能評価機関への技術的審査依頼費用および所管行政庁への認定申請手数料が対象となります。				
※4 土地取得費も【フラット35】でお借入れされる場合に限りです。				
※5 満期時に一定の金銭(満期返戻金など名称は問いません。)を受け取ることができる特約(オプション)のついた商品をお願いします。				

お借入れの対象となる諸費用(借換融資の場合)

対象となる諸費用	確認書類
① 適合証明検査費用(物件検査を受ける場合のみ)	申請書、請求書、領収書
② 融資手数料	金融機関で算出した書類
③ 金銭消費貸借契約証書に貼付する印紙代(お客さまの負担分)	
④ 借換前の住宅ローンに係る経過利息	保険会社が発行した見積書
⑤ 借換前の住宅ローンに係る繰上返済手数料	
⑥ 火災保険料(積立型火災保険商品※5に係るものを除きます。)、地震保険料	司法書士が発行した見積書
⑦ 登記費用(司法書士報酬)	
⑧ 登記費用(登録免許税)	

【資金計画欄の記載要領】

43	所要資金	④建設費・購入価額	3780	万円	内諸費用分	50	万円	+	⑤土地取得費		万円	=	合計(④+⑤)	3780	万円		
47	① 住宅	借入金等	3000	万円	返済期間	35	年	年間返済額の1/12	資金交付希望月	令和〇〇年	12	月	返済方法	①元利均等返済	②元金均等返済		
	② 土地			万円					ボーナス併用希望	有	ボーナス払い月	①1月と7月	②2月と8月	③3月と9月	④4月と10月	⑤5月と11月	⑥6月と12月
	合計(①+②)		3000	万円					ボーナス併用希望	無	借入金のうちボーナス払い分	1000	万円				
48	③ 公的資金			万円					① 借入金(申込日前3か月以内に返済した借入金を含みます。)	ありませ							
	()	金利		%					② 借入金(申込日前3か月以内に返済した借入金を含みます。)	は、別紙の							
	④ 民間金融機関			万円					① 今回の住宅取得以外の借入金に関する申出書の上記であり、そ								
	()	金利		%					うち契約手続き後も返済を継続する借入及び地代、家賃の合計件数、借								
	⑤ 勤務先			万円					入残高及び年間返済額の1/12の合計は以下のとおりです。								
	()	金利		%					合計	3	件	237	万円	返済額計	1156667	円	
50	⑦ 手持金		780	万円	→「手持金の内訳」欄にご記入ください。				※資金計画欄の「⑦手持金」がある場合はご記入ください。								
51	⑧ 住宅新築後も返済を要する土地取得費の借入金			万円					種類	金額							
52	合計(①～⑧)		3780	万円					預貯金	定期預金・〇〇銀行	200	万円					
										定期預金・△△信用金庫	280	万円					
										不動産売却代金		万円					
										その他(贈与)	300	万円					

43 所要資金

- 各記入項目ごとに万円未満はすべて切り捨ててご記入ください。
- 請負(売買)契約が未締結の場合は、予定額をご記入ください。
- (ア)「④建設費・購入価額」欄
 - 消費税相当額を含んだ額をご記入ください。
 - 併用住宅の場合は非住宅部分(店舗・事務所等)の工事費を除いてください。[住宅建設の場合] 請負契約書に記載されている請負金額をご記入ください。(注1)
 - [新築・中古購入(一戸建て、連続建て、重ね建て)の場合] 売買契約書に記載されている売買金額のうち、建物の価額をご記入ください。(注1)(注2)
 - [新築・中古購入(共同建て)の場合] 売買契約書に記載されている売買金額をご記入ください。(注1)(注2)
 - [借換融資の場合] お借換えの対象となる住宅ローンのお申込日現在の残高(お借換の対象となる住宅ローンが複数ある場合は、残高の合計金額)をご記入ください。(注1)
- (イ)「⑤土地取得費」欄
 - 併用住宅の場合は、床面積に占める住宅部分と非住宅部分の面積按分による割合に応じて、非住宅部分の土地取得相当額を除いてご記入ください。
 - 土地資金を希望する場合(申込年度の前々年4月1日以後に取得したものが対象となり、今回の借入金により敷地の購入ローンを全額返済する場合も含みます。)には、次のとおりご記入ください。
 - 敷地を購入予定の方は購入予定額を、すでに購入した方は購入時の購入価額をご記入ください。
 - 借地の場合は借地権取得費(権利金、保証金、敷金、前払賃料等)をご記入ください。
 - 土地資金を希望しない場合には、次のとおりご記入ください。
 - ①土地取得費を含めて所要資金が1億円を超える場合は、記入しないでください。
 - ②土地取得費を含めて所要資金が1億円以下である場合は、次のとおりご記入ください。
 - 自己資金のみにより土地を取得する場合は、土地取得費を記入しないでください。
 - 他の借入れ又は他の借入れと自己資金の組合せにより土地を取得する場合は、購入予定額をご記入ください。
 - 他の借入れにより既に土地を取得している場合は、⑤ 住宅新築後も返済を要する土地取得費の借入金に記入する金額をご記入ください。
- [新築・中古購入(一戸建て、連続建て、重ね建て)の場合] 売買契約書に記載されている売買金額から「④ 建設費・購入価額」欄を差し引いた金額をご記入ください。
- [新築・中古購入(共同建て)の場合]
 - 記入しないでください。
 - 借地権取得費がある場合は「⑤ 土地取得費」欄には記入せず、「④ 建設費・購入価額」にご記入ください。
- [借換融資の場合] 記入しないでください。

44 返済方法

- (イ)「内諸費用分」欄
 左表「お借入れの対象となる諸費用」について借入れを希望する場合は、当該諸費用の金額をご記入ください。
- (ウ)「⑥ 土地取得費」欄
 [住宅建設の場合]
 併用住宅の場合は、床面積に占める住宅部分と非住宅部分の面積按分による割合に応じて、非住宅部分の土地取得相当額を除いてご記入ください。
- 土地資金を希望する場合(申込年度の前々年4月1日以後に取得したものが対象となり、今回の借入金により敷地の購入ローンを全額返済する場合も含みます。)には、次のとおりご記入ください。
- 敷地を購入予定の方は購入予定額を、すでに購入した方は購入時の購入価額をご記入ください。
- 借地の場合は借地権取得費(権利金、保証金、敷金、前払賃料等)をご記入ください。
- 土地資金を希望しない場合には、次のとおりご記入ください。
- ①土地取得費を含めて所要資金が1億円を超える場合は、記入しないでください。
- ②土地取得費を含めて所要資金が1億円以下である場合は、次のとおりご記入ください。
- 自己資金のみにより土地を取得する場合は、土地取得費を記入しないでください。
- 他の借入れ又は他の借入れと自己資金の組合せにより土地を取得する場合は、購入予定額をご記入ください。
- 他の借入れにより既に土地を取得している場合は、⑤ 住宅新築後も返済を要する土地取得費の借入金に記入する金額をご記入ください。

45 年間返済額の1/12

- ③～⑥、⑧の借入金のうち、お申込人又は収入合算者が借入名義となる借入金の年間返済額の1/12(元金均等返済の場合は第1回目の返済額)をそれぞれご記入ください。
 - 同一借入先で複数の借入金がある場合は、借入額が大きい方の金利、返済期間を「金利」欄、「返済期間」欄にご記入ください。
 - 「③公的資金」欄については、借入先を()内に、「④民間金融機関」欄については、当金融機関利用の場合は「本金融機関利用」に○印をつけ、それ以外の場合は借入先を()内に、「⑥親・親戚・知人」欄については、()内に借入先の氏名及びお申込人との関係をそれぞれご記入ください。
 - ④の所要資金にお申込人、収入合算者以外の方がお借入れを行う資金が含まれる場合は、⑥にその借入金も含めてご記入ください。
 - ※【ダブルフラット】(【フラット35】同士を併せ融資)をご利用される場合は、「③公的資金」に他方の借入れをご記入ください。
- (イ)「⑦手持金」欄
 「⑦ 手持金」欄は、家族の手持金も含めてご記入ください。また、右側の「手持金の内訳」欄に詳細をご記入ください。

46 資金交付希望月

- 資金のお受取を希望される年月をご記入ください。

47 返済方法

- ご希望の返済方法どちらかに○印をつけてください。

48 合計

- 「資金計画」欄の合計額をご記入ください。
- ④の所要資金の「合計(④+⑤)」欄の合計金額と一致させてください。

49 ボーナス併用希望・ボーナス払い月・借入金のうちボーナス払い分

- (ア)「ボーナス併用希望」欄
 借入金のうち一部をボーナス払いとすることを希望される場合は「有」に、希望されない場合は「無」に○印をつけてください。
- (イ)「ボーナス払い月」欄
 「有」に○印をつけた場合は、ボーナス払いを希望される月に○印をつけてください。
- (ウ)「借入金のうちボーナス払い分」欄
 「有」に○印をつけた場合は、借入金のうち、ボーナス払い分とする金額をご記入ください(ボーナス払い分とすることができる金額は、融資額の10分の4以内です。)

50 フラット35の借入内容

- (ア)「①住宅」欄【フラット35】の借入希望額のうち住宅分を1万円単位でご記入ください。
- (イ)「②土地」欄【フラット35】の借入希望額のうち土地分を1万円単位でご記入ください。
- ※「②土地」に借入金の記入がない場合、融資率は、「①住宅+「④」の④建設費・購入価額」で計算されますのでご注意ください。
- (ウ)「合計」欄 ①と②の合計金額をご記入ください。

51 その他の借入内容

- ④の所要資金のうち今回の借入金以外の借入金について借入先ごとに金額、金利(③、④のみ)、返済期間をご記入ください。
- 同一借入先で複数の借入金がある場合は、借入額が大きい方の金利、返済期間を「金利」欄、「返済期間」欄にご記入ください。
- 「③公的資金」欄については、借入先を()内に、「④民間金融機関」欄については、当金融機関利用の場合は「本金融機関利用」に○印をつけ、それ以外の場合は借入先を()内に、「⑥親・親戚・知人」欄については、()内に借入先の氏名及びお申込人との関係をそれぞれご記入ください。
- ④の所要資金にお申込人、収入合算者以外の方がお借入れを行う資金が含まれる場合は、⑥にその借入金も含めてご記入ください。
- ※【ダブルフラット】(【フラット35】同士を併せ融資)をご利用される場合は、「③公的資金」に他方の借入れをご記入ください。

52 年間返済額の1/12

- ③～⑥、⑧の借入金のうち、お申込人又は収入合算者が借入名義となる借入金の年間返済額の1/12(元金均等返済の場合は第1回目の返済額)をそれぞれご記入ください。
- 同一借入先で複数の借入金がある場合は、それぞれの年間返済額の1/12(元金均等返済の場合は第1回目の返済額)の合計額をご記入ください。
- お申込人及び収入合算者以外の方の借入金については、年間返済額の1/12を記入する必要はありません。
- ボーナス併用払いをご利用の場合は、ボーナス払いを利用しないものとして計算した場合の年間返済額の1/12をご記入ください(1円未満切り捨て)。

53 手持金

- 「⑦手持金」欄は、家族の手持金も含めてご記入ください。また、右側の「手持金の内訳」欄に詳細をご記入ください。

54 住宅新築後も返済を要する土地取得費の借入金

- 土地をすでに購入した方で土地の購入ローンをご返済中の方のみ、購入ローンの残元金をご記入ください。
- 土地取得費との差額は⑥手持金に含めてください。
- 今回の【フラット35】により土地の購入ローンを全額返済する場合は、「0」をご記入ください。

55 合計

- 「資金計画」欄の合計額をご記入ください。
- ④の所要資金の「合計(④+⑤)」欄の合計金額と一致させてください。

53 今回の住宅取得以外の借入内容

お申込人又は収入合算者が借入名義人である以下の借入金がない場合は「㉑」に、ある場合は「㉒」に○印をつけてください。

- ㉓の所要資金に含めていない現在ご返済中の借入れ
- ㉔の所要資金に含めていない住宅取得時までに借入予定の借入れ
- お申込みの3か月前以内に完済した借入れ
- ㉕に○印をつけた場合は、別紙「今回の住宅取得以外の借入内容に関する申出書（兼既融資完済に関する念書）」を、記載要領に基づき正確に記入の上、提出してください（㉖に○印をつけた場合は提出不要です。）。

54 合計及び返済額計

- ㉗の今回の住宅取得以外の借入内容で「㉘」に○印をつけた場合は、別紙の「今回の住宅取得以外の借入内容に関する申出書（兼既融資完済に関する念書）」の4にご記入いただいた借入れの合計件数、借入残高計及び年間返済額の1/12の合計をご記入ください。
- ㉙の今回の住宅取得以外の借入内容で「㉚」に○印をつけた場合は、記入しないでください。

55 預貯金

- 「資金計画」欄の「㉛手持金」欄に記入した金額のうち、今回の住宅取得に関して用意する預貯金についてご記入ください。

56 不動産売却代金

「資金計画」欄の「㉜手持金」欄に記入した金額のうち、今回の住宅取得に関して売却する不動産の代金をご記入ください。

57 その他

「資金計画」欄の「㉝手持金」欄に記入した金額のうち、今回の住宅取得に関して、預貯金又は不動産売却代金以外に用意する資産（贈与金、有価証券等）がある場合は、（ ）内に具体的な内容を、「金額」欄に金額をご記入ください。

【事業者欄の記載要領】

58	工事請負(予定)事業者・購入する場合は売主	株 有	フリガナ フラットジュタク	担当者氏名 鈴木 一郎	住所 〒(000-0000) ☎(000)-(0000)-(0000) 東京都 国立市 東 0-0-0
	販売代理事業者(仲介事業者)の有無	有 → 株 無	フリガナ	担当者氏名	〒(-) ☎()-()-()
60	リフォーム事業者の有無	有 → 株 無	フリガナ	担当者氏名	〒(-) ☎()-()-()

58 工事請負(予定)事業者・購入する場合は売主

- 該当が複数ある場合は、1つの事業者のみご記入ください（「他1社」等の記入も不要です。）。
- 株式会社の場合は「株」に、特例有限会社の場合は「有」に、それぞれ○印をつけてください。
- 株式会社、特例有限会社以外の組織形態（個人経営の工務店を含みます。）の場合には、どちらにも○印をつけないでください。
- 担当者の氏名及び会社の住所・電話番号をご記入ください。
- 事業者・売主の名称は略さずにご記入ください（ただし、株式会社、特例有限会社等の組織形態は記入しないでください。）。
- 個人の場合は、個人名をご記入ください。
- フリガナ欄には、（カブ）、（ユウ）等は記入せず、カタカナで名称を略さずにご記入ください（ただし、支店名、営業店名及び担当者名は記入しないでください）。
- 中古住宅を個人の売主から購入する場合で売主が電話番号の記載を希望しないときは、電話番号欄に、（999）－（9999）－（9999）と記入してください。
- 借換融資の場合は、何も記入しないでください。

59 販売代理事業者(仲介事業者)の有無

- 住宅の購入における住宅の売買又は住宅の建設の場合における土地の売買について販売代理事業者（仲介事業者）がいる場合は「有」に、いない場合には、「無」に○印をつけてください。
- 「有」に○印をつけた場合は、販売代理事業者（仲介事業者）の名称及び住所をご記入ください。
 - 住宅と土地の販売代理事業者（仲介事業者）が異なる場合は、住宅の販売代理事業者をご記入ください。
 - ご記入の方法は、㉞の工事請負（予定）事業者・購入する場合は売主と同様です。
 - 借換融資の場合は、何も記入しないでください。

60 リフォーム事業者の有無

- 【フラット35（リフォーム一体型）】を利用する場合は、「有」に○印をつけ、リフォーム事業者の名称・住所等をご記入ください。
- ご記入の方法は、㉞の工事請負（予定）事業者・購入する場合は売主と同様です。
- 【フラット35（リフォーム一体型）】以外の場合は、何も記入しないでください。

【お借換欄の記載要領】

61	借換	借入先 諸費用	現在の借入先が住宅金融支援機構のみの場合 A 借換融資で諸費用の融資を希望する B 借換融資で諸費用の融資を希望しない C 現在の借入先が住宅金融支援機構以外の場合	金利種類 ① 変動金利型 ② 全期間固定金利型 ③ 固定金利期間選択型	当初借入 年月日	借換 当初 取得価額	当初借入 金額	残高証明書 発行残回数
			借入先名 []		借入金残高 [2922] 万円	直近1年間の元利金の支払状況 ① 遅延なし	当初借入区分 ① 住宅のみ ② 住宅及び土地	

61 借入先・諸費用

- 現在の借入先と、今回の借換融資に含める諸費用について、該当する番号に1つだけ○印をつけてください（複数不可）。
- 現在の借入先が旧住宅金融公庫の融資又は【フラット35（買取型）】（【フラット35（保証型）】を除きます。）のみで、借換融資の借入名義人が現在の借入先の借入名義人と同一の場合かつ、今回の借換融資の借入希望額に当該借換えに係る諸費用の融資を希望される場合は、Aに○を付けてください。希望されない場合は、Bに○を付けてください。
- 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の融資と併せて財形住宅資金貸付け（機構財形融資）からの借入れがある場合は、借入先は機構のみとしてください。
- 上記以外はCに○を付けてください（現在の借入先が旧住宅金融公庫の融資又は【フラット35（買取型）】のみの場合で、今回の借換えて新たに連帯債務者を追加する場合も、Cに○を付けてください。）。

62 金利種類

- 現在ご返済中の住宅ローンの金利種類について該当するものに1つだけ○印をつけてください（複数不可）。
- 現在ご返済中の住宅ローンのお借入時において返済終了時まで金利が確定している場合は、「②全期間固定金利型」に○印をつけてください。
- お借入先が複数ある場合は、借入残高が最も大きいお借入先の金利種類に○印をつけてください。

63 当初借入年月日

住宅取得時に借り入れた住宅ローンの金銭消費貸借契約の締結日（金消契約日）をご記入ください。

- お借入先が複数ある場合は、お借換えの対象となる住宅ローンに係るお借入れ（土地を取得するための借入れを除く。）のうち最も古い金消契約日をご記入ください。

64 当初取得価額

- お借換えの対象となる住宅をご購入又は建設された際の売買契約書又は工事請負契約書等に記載されている金額をご記入ください。
- 土地取得に係るローンも併せて借り換える場合は、土地取得費を含めた合計金額をご記入ください。

65 当初借入金額

- 住宅取得時に借り入れた住宅ローン（諸費用ローンは除きます。）のお借入金額（土地取得に係るローンも併せて借り換える場合は、土地取得時に借り入れたローンのお借入金額も含まれます。）をご記入ください。
- お借換えの対象となる住宅ローンが複数ある場合は、合計金額をご記入ください。
 - 当初借入金額が64の当初取得価額を上回る場合は、当初借入金額欄には64の当初取得価額をご記入ください。

66 借入金残高

お借換えの対象となる住宅ローンのお申込日現在の残高（お借換えの対象となる住宅ローンが複数ある場合は、残高の合計金額）をご記入ください。

67 直近1年間の元利金の支払状況

- お借換えの対象となる住宅ローンの直近1年間の元利金の支払状況（複数のお借入がある場合はすべての借入れについての支払状況）について、延滞なくお支払いされている場合のみ、①に○印をつけてください。
- ご返済状況が良好でない場合は、お借換えの対象となりませんので、ご注意ください。

68 残高証明書発行残回数

- ④の残高証明書発行希望で「①有り」に○印をつけた場合は、発行残回数をご記入ください。
- 住宅借入金等特例控除（住宅ローン控除）の適用期間が終了している場合は“0”をご記入ください。

69 当初借入区分

- お借換えの対象となる住宅ローンが、住宅の建設費又は購入費のみの融資（土地取得費への融資を含んでいない。）である場合は、「①住宅のみ」に○印をつけてください。
- お借換えの対象となる住宅ローンが、土地取得費への融資を含む場合は、「②住宅及び土地」に○印をつけてください。